

国立公園満喫プロジェクト等推進事業

【平成30年度予算：11,700百万円 の内数（10,019百万円の内数）】
（ 特別会計700百万円を含む）

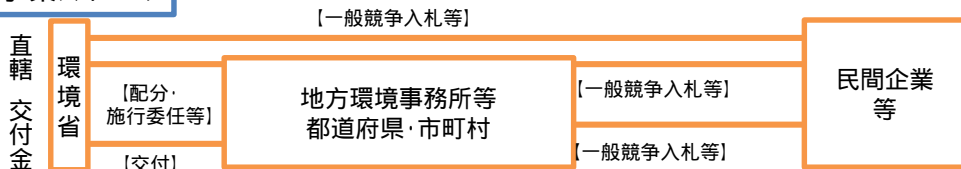
環境省

目的・背景

平成28年3月に観光ビジョン構想会議（議長：内閣総理大臣）がとりまとめた「明日の日本を支える観光ビジョン」において、「国立公園満喫プロジェクト」として、まずは8箇所の国立公園で「国立公園ステップアッププログラム2020」を策定し、2020年までに外国人国立公園利用者数を年間1000万人に倍増させることが求められている。

このため、平成29年度までに、国立公園の統一的ブランドイメージを広く海外に発信するためのプロモーション、ツアーコンテンツの発掘・磨き上げ、利用者数以外の質に関するプロジェクトの評価指標の開発等を実施することとしている。

事業スキーム



事業概要

各国立公園へのより具体的な誘客に向けたモデルコース等の設定等を行うとともに、ターゲットの指向にあわせたプロモーションを行い、国立公園のブランドイメージの定着化を図る。また、開発した質に関する指標を活用したプロジェクト全体の中間評価、プロジェクトを実施する各国立公園における地域協議会の効果的な運営及び具体的取組のさらなる推進、2020年の目標達成に向けた8つの公園の成果の水平展開等を進める。

あわせて世界水準の「ナショナルパーク」実現のため、登山道、ビジターセンター、キャンプ場、休憩場所（カフェ、ベンチ）等の再整備、景観改善、ICT技術も活用した多言語化対応、公園施設の長寿命化対策、宿舎施設の省CO2改修支援等を実施し、国立公園利用者へ安全で快適な利用環境を提供する。

期待される効果

観光ビジョンに掲げられた訪日外国人の国立公園利用者数に関する数値目標（2020年までに1000万人に増やす）の達成を目指す。

事業目的・概要等

課題

観光競争力：文化資源は第4位、自然資源は第26位（世界経済フォーラムデータより） 次の訪日でしたいことは「自然・景勝地観光」第2位（訪日外国人消費動向調査より）

情報発信の不足

- 日本観光の情報発信が文化中心
- 日本の「自然」の魅力が発信不足

受け入れ環境の未整備

- 登山道の荒廃、遊歩道の老朽化等への対応の遅れ
- アクティビティ、ガイドが不足し、滞在時間が短い
- 多言語対応など外国人目線の施設整備が不足



訪日外国人の期待する「国立公園の魅力」1位「自然を楽しめる遊歩道」63%
（環境省「国立公園価値把握調査」,2017）

イメージ

今後の取組

情報発信の強化

- 観光庁、外務省、JNTOと連携
- 戦略に基づくターゲットの指向に合わせたプロモーション

アクティビティの充実

- 自然を満喫するアクティビティ、モデルコース開発
- 自然ガイドの養成



基盤的な利用施設の整備

- 登山道・遊歩道の再整備
- ビジターセンターの充実
- キャンプ場リニューアル
- 休憩場所（カフェ、ベンチ等）の整備
- ICT技術も活用した多言語化対応
- 景観改善



中間評価

質の指標を活用したプロジェクト全体の中間評価

水平展開

8公園の成果を全国の国立公園に展開



国立公園を軸とした地方創生

観光消費額の増加

・国立公園を目的地に訪れる外国人観光客が増加

民間投資の喚起

- ・上質なホテル、カフェ等の進出
- ・ガイド産業の活性化
- ・宿舎施設の省CO2化投資促進
- ・利用料、民間資金等の活用
- ・維持管理の充実/サービスの向上
- ・自然環境の保全

地域協議会 自治体・民間団体等と連携して取組を推進